

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 5月18日更新

事務事業名		農業総合センター維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	6	産業の健康			所属部	事業部	課長名	塚本 健洋
	施策	26	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	青木 克憲
	施策の柱	71	関係機関との連携の強化			所属班	農政班	(内線)	1175
予算科目	会計一般	款6	項1	目9	事業連番11500	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<ul style="list-style-type: none"> 農業用施設の機能を保持するとともに安全かつ効率的に利用できるように維持管理を行う。 地域農業の振興及び地域農業者の体育並びに文化の向上を図り、まちづくりを推進するための施設として開始された。 農業研修施設については、合併を機に農業構造改善センターを生涯学習課に移管したため、現施設数となった。 公共施設の管理運営については、指定管理者制度を導入するところであった。
【業務の流れ】	農業総合センター・・・管理費負担協議事務、施設利用申請の受付、利用料金の調定・納付書発行、酪農組合への連絡清掃(年1回床・窓)、施設経費に係る支払い事務
【主な予算費目】	需用費、委託料、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	・農業総合センターについては、監査委員から、管理や利用者の受益者負担についての見直しの指摘がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	管理費契約の締結及び管理費の支払い。施設利用者の申請受付・受理等事務。空調機設置工事の実施。	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ ア: 利用件数	件	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民(利用者)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
		→ ア: 利用者数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	農業用施設を常に安全かつ快適に利用できる	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
		→ ア: 苦情件数
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
平成26年空調機設置工事を行ったが、平成26年度利用者数は横ばいであったため過去の数字の近似値とした。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度実績(決算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	30年度予定	31年度見込	32年度見込
① 活動指標	ア	件	50	60	100	30	100	100	0	0
② 対象指標	ア	人	1,516	1,082	1,500	375	1,500	1,500	1,500	1,500
③ 成果指標	ア	件	0	0	0	0	0	0	0	0
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円			1		1	1	1
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	306	414	352	338	352	352	352
		(A) 事業費計	千円	306	414	353	338	353	353	0
		(A)のうち指定経費	千円	296	410	336	334	336	336	336
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員従事人数	人	4	3	3	4	3	3
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	57	75	250	450	250	250	0	
	(B) 人件費計	千円	227	278	996	0	996	996	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	533	692	1,349	338	1,349	1,349	353	

事務事業名	農業総合センター維持管理事業	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	----------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 熊本地震により大会議室が使用不可になったため、申請件数、利用者数ともに減少し、目標が達成できなかった。
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 H28年度末に大会議室の修繕工事が完了している。 各農業団体に利用促進を行うことにより、更なる利用率向上を図る。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 契約事務や支払い事務など職員による処理が必要であり、現在1人で行っているため、これ以上は減らせない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 他の市の施設と比較検討を行ない、利用者における使用料負担の検討を行なう必要がある。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 熊酪で会議室の管理等を移行できれば見直しの余地がある。

3 評価結果の総括 (CHECK)

施設利用率の低迷が続いている為、今後各種農業団体等への利用促進を行い、施設の有効利用を図る。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善 (有効性改善)
事業のやり方改善 (効率性改善) 事業のやり方改善 (公平性改善)
現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策